

# 石油天然ガス開発や権益確保に資する技術開発等の促進事業

平成30年度予算額 **37.0億円 (40.0億円)**

## 事業の内容

### 事業目的・概要

- 資源国の公的機関との共同研究を通じた油田権益の維持・確保、我が国企業が参加する海外の開発プロジェクトへの支援強化による油ガス田の資産価値向上、並びに我が国企業の探鉱評価技術の向上を図り、石油・天然ガスの自主開発比率の向上を目指します。

#### (1) 海外油ガス田権益獲得等事業

UAE等の油ガス田を対象に、相手国機関と連携し原油回収率向上技術等の技術開発や実証事業を行うことにより、相手国政府との関係を強化し、我が国企業の石油・天然ガス田権益の維持・獲得に貢献します。

#### (2) 本邦企業油ガス田資産価値向上事業

我が国企業が権益を持つシェールガス・オイルプロジェクトについて、埋蔵量評価や開発手法の最適化等を通じた開発コスト削減・資源量増加による資産価値向上を図ります。また油ガス生産に伴って排出される水の処理技術、原油タンク内に溜まる固形分の減量化技術、最先端のIoTの活用等次世代の探鉱技術等の開発により、操業コスト削減等を行って我が国企業の競争力強化を図り、石油・天然ガスの安定供給に貢献します。

#### (3) 探鉱評価技術向上

資産買収対象企業の技術力・技術水準に係る評価に必要な我が国企業の技術力を醸成することにより、資産買収時等の探鉱開発評価能力を向上させ、効率的かつ安全な出資事業を支援します。

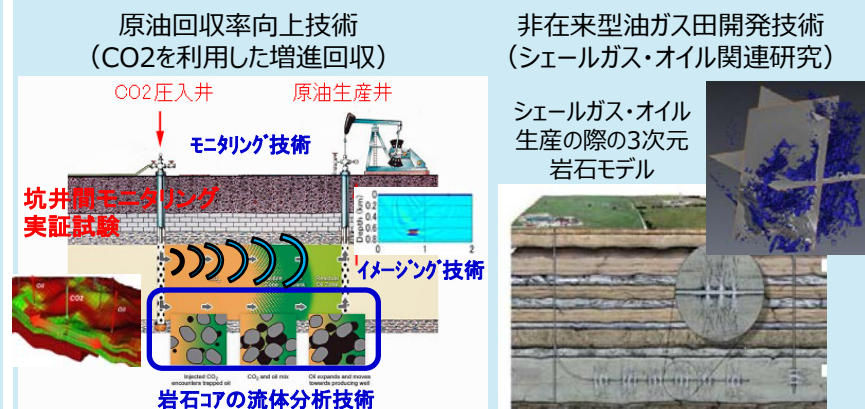
### 成果目標

- JOGMEC第4期中期目標も踏まえ、権益獲得・延長等に繋がる技術開発の特許申請数累計75件以上、技術開発成果の探鉱開発事業への適用件数累計33件以上を目指します。

### 条件 (対象者、対象行為、補助率等)



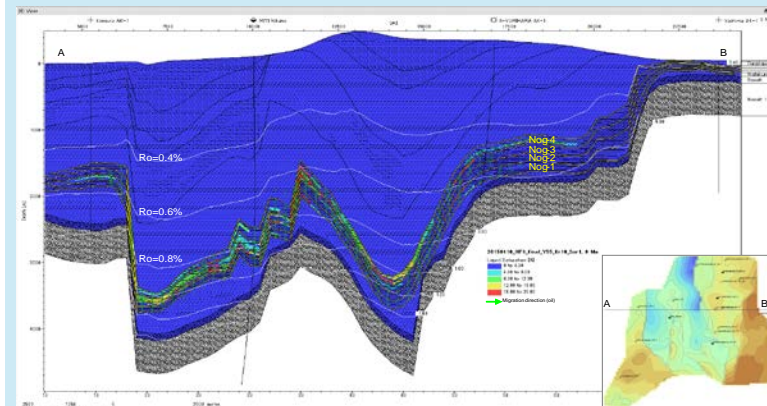
## 事業イメージ



〔油田の地層内に二酸化炭素を圧入して原油を増進回収するための基本設計等〕 〔シェールガスの埋蔵量評価による開発エリア選定や最適な生産方法等の研究〕

開発・操業コスト削減技術における課題の解決の例

- ① 特殊岩貯留層に対する評価技術、石油システム解析技術 (資源量増大)
- ② 光ファイバを坑内に挿入して坑内挙動を解析・評価する技術 (開発コスト削減)
- ③ ビッグデータの活用による異常検知 (操業コスト削減)



複雑な石油システムを解析するための堆積盆地シミュレーション技術の開発等